
interdependence.

月子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

i n t e r d e p e n d e n c e .

【Nコード】

N 2 8 5 8 A

【作者名】

月子

【あらすじ】

生徒会長の彼と、所謂不良の僕。二人が屋上で紡ぐ、秘密の関係を描いてみました。

放課後のチャイムが鳴り響くと、僕は急いで荷物をまとめて廊下を走る。担任の怒鳴り声を背中で聞いて、一心に走る。きつとこの時のタイムを計れば、いい成績をもらえるのではないだろうか。一番必死に駆けているから。

隣校舎の隅にある暗がりの階段を駆け上がって、少し重たい鉄のドアを小さな掛け声とともに開いて。

俯き荒い息を素早く整えて、視線を上げる。

瞳に写る、柵に凭れかかる君の姿を確認して、

「おはよう」

君がにっこりと笑う。

僕の幸福の瞬間。

「生きるのは大変だ」

彼はぽつりと呟いた。茶色がかった髪が緩やかな風に靡く。

「嫌なことばかり、あつて」

ポケットに手をつ突っ込んで、彼が出したのはくしゃくしゃの煙草のパッケージ。一本だけ出して、慣れた手つきで火を点けた。

「いいのかよ、生徒会長」

「別に」

僕はクスリと笑って、同じように煙草を出して、彼の煙草にトンとくつつける。彼は訝しげな表情をして、僕は笑った。

「火イ貰いたかったただだよ」

煙を吐いた。肺の中に入り込む有害ガス、じんわりと広がる痛みに恍惚とする。

僕らは殆ど毎日この時間に、ここで喫煙する。ここは学校の中とは別世界で、僕らはこの屋上でしか言葉を交わさずすれ違いもした

い。彼は成績優秀頭脳明晰な優等生で生徒会長、僕は素行不良で教師に睨めつけられる日々を送る劣等生、立場が正反対だ。

あれは桜が全力を出す春、何気なくここを訪れたときだった。

アンタ、

コーヒーの缶を灰皿代わりに煙草を吸う彼を見たのは。心底吃驚したようで、彼はすたすたと此方へ歩み寄って、口に手を当ててきた。

内緒に。

そんな仕草が、酷く華麗だったのを憶えている。

僕はそんなことはどうでもよくて、何となく彼の指が持つ煙草をひったくって煙を吸い上げ、

オレもここで吸っていいか？

彼はぽかんとしていて、やがて吹き出して頷いていた。

生徒会長の彼と、こうして煙草を気持ちよさそうにふかす彼。

あの日から、始まった秘密の関係。

「難しいよ、生きるのは」

「息するのも面倒くさい。仮面を被って生きるなんて、」

彼は眉を顰めて、めいっぱい煙を吸い込んだ。

「……やめてしまいたくなる」

目を細めて、体中を駆け巡る真っ黒の物質がくれる快樂に踊っているようだ。

「死んでもらっちゃ困るよ」

「何故」

僕は細い彼の髪を梳いた。彼は少し頬を赤らめている。

「そりゃあ、オレはおまえが要るからさ」

いつからだろう、僕らはお互いに自然に惹かれあっていき。

「その言葉、そっくりそのまま返す」

いつからだろう、僕らはお互いになくせない関係になった。

「当然」

ニヤリと笑って、重力に身を任せて口付ける。

好きだなんて曖昧な言葉はない。僕らの想いはそんな言葉じゃ形
成できない。

二人の煙草の味。依存しているこの感触。
秘密の口付け。夕焼けに照る。

苦々しく、
愛しきキス。

ああそうだ、
僕らは煙草なんかより、

互いに依存しているのだ。

（後書き）

読んでいただきありがとうございましたw
またもや名前の出てこないお話笑。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2858a/>

interdependence.

2010年10月11日00時21分発行